

【そごう美術館】

アールヌーヴォーからアールデコに咲いたデザイン

オールドノリタケ×若林コレクション

■会 期 2022年9月10日（土）～10月16日（日） *会期中無休

■会 場 そごう美術館（そごう横浜店6階）

■開館時間 午前10時～午後8時 事前予約不要

※入館は閉館の30分前まで。

※そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。



《色絵金盛薔薇文飾壺》1891-1921年頃

明治の開国後、世界に向けて開かれた港「横浜」。激動の時代のなか、森村市左衛門と大倉孫兵衛一横浜にゆかりあるふたりの出会いは、オールドノリタケの発展に大きく貢献しました。

オールドノリタケとは、明治中期から第二次世界大戦期にかけて、森村組および日本陶器（現・株式会社ノリタケカンパニーリミテド）によって製作・販売・輸出された陶磁器です。

19世紀後半、欧米では万国博覧会が各地で開催され、日本をはじめとする異国への関心が高まりを見せます。そのなかで、明治政府の殖産興業政策の一環として陶磁器の生産が強化され、万国博覧会などを通じて欧米諸国に紹介されました。

こうした時代に創業されたのが森村組です。森村組と、森村組の関連会社として設立された日本陶器は、アメリカの販売拠点であるモリムラブラザーズとの協同により、当時の欧米の顧客ニーズをいち早く取り入れ、新しいデザインの陶磁器を次々と生み出していきました。

本展では、オールドノリタケの陶磁器やデザイン画などをご紹介します。アールヌーヴォーの華麗な絵付けを施された作品や、アールデコの可憐なモチーフが儼く咲いた作品など、欧米に学びながらも独創性を開花させた意匠、技法、器種を網羅する若林コレクションから、オールドノリタケのさまざまに咲いた色彩とデザインをお楽しみください。

展覧会のポイント

●オールドノリタケの優れた技巧をご覧ください。

明治工芸の細密描写は、近年大きな注目を集めています。明治輸出工芸の流れをくむオールドノリタケの職人たちは、欧米に学びながら、さまざまな技法を探求・駆使し、陶磁器を生み出していきました。

本展では、オールドノリタケを構成する優れた技巧を、解説と共にご覧いただけます。

●オールドノリタケを、「モチーフ」、「スタイル」、「テクニック」、「ファンクション」の4つの観点から読み解きます。

本展では、制作技法はじめ、作品に描かれたモチーフ、デザインの様式、陶磁器の器種と、4つの観点からオールドノリタケを紹介・解説いたします。さまざまな角度から、オールドノリタケをお楽しみいただけます。

●華やかなオールドノリタケのテーブルセッティングをお楽しみいただけます。

オールドノリタケの作品をコーディネートし、展示室内に華やかなアフタヌーンティーのテーブルを再現いたします。テーブルセッティングは、横浜市在住のテーブルコーディネーター・竹内薫氏にご担当いただきます。



テーブルコーディネートコーナーでは、

《色絵金彩ビーディング和風人物風景文ティーセット》

1908-26年頃

を中心とした、アフタヌーンティーのテーブルをお楽しみいただけます。

この作品群には、欧米の異国趣味を反映したような、和風の人物・風景が描かれています。

金彩の繊細な表現も見どころです。

【「横浜」とオールドノリタケ】

オールドノリタケには、横浜にゆかりある二人の人物が関わっています。森村市左衛門と大倉孫兵衛です。横浜で商売を行っていた二人は意気投合し、やがて義兄弟となりました。

ふたりの出会いと活躍は、オールドノリタケの発展に大きく貢献していくこととなります。

森村市左衛門（1839－1919）は、森村組・日本陶器の創始者です。武具商に生まれましたが貿易商を志し、横浜において、舶来品を仕入れ、武家に販売する商いを始めます。こののち、アメリカに渡った弟・豊と共に、陶磁器の製造・輸出・販売を行っていくこととなります。

大倉孫兵衛（1843－1921）は、江戸・日本橋の絵草子屋に生まれます。横浜では、外国人を相手に錦絵の販売などを行っていました。美術に関する優れた感性を活かして、主にデザインの面で手腕をふるいました。のちに、息子・和親とともに大倉陶園を創始します。

広報用貸出画像

	画像	作品名
1		《色絵金盛薔薇文飾壺》1891-1921 年頃
2		《色絵金彩藤文花瓶》1891 年-1921 年頃
3		《色絵金彩婦人型ドレッサーセット》 1908-26 年頃
4		《色絵ラスター彩花文鳥付掛花入》 1920-31 年頃

5		《色絵金彩婦人文蓋物》1920-31 年頃
6		《色絵白盛梅文カップ&ソーサー》1911-21 年頃
7		《色絵エッチング金盛牡丹文双耳花瓶》1911-21 年頃
8		《白盛牡丹文香水瓶》1908-26 年頃

本展のお問い合わせ

そごう美術館 〒220-8510 横浜市西区高島 2-18-1

TEL 045-465-5515 FAX 045-465-2298

担当：寺田 (masako-terada@sogo-seibu.co.jp) / 大塚 (yasuko-otsuka@sogo-seibu.co.jp)

/ 三瓶 (hiroyuki-sampej@sogo-seibu.co.jp)